

2024 年度留学生就職促進教育プログラム 取組状況報告

本学では2024年度より本プログラムの認定を受けたことから、留学生の就職促進に向けて本格的な取組を開始した。同プログラムの対象となる Showa Direct 4.5 の第1期生は昨年10月に3名が入学し、本年10月には7名が入学予定である。

現時点までには、主に以下の取組を行った。

1. 留学生の募集／入学許可

ベトナムや中国を対象に現地の高校及び日本語学校と提携し、各校からの推薦をもとに2024年1月に Showa Direct 4.5 の第1回入試を実施した結果、3名が合格し、全員が昨年10月に入学した。2025年度の入試では7名の学生が合格し、本年10月に入学予定である。入学後、最初の半年間は日本語教育センターの開設する日本語科目を中心に履修する。

年度	合計人数	内訳：入学者及び入学予定者
2024年度	3名	健康デザイン学科3名
2025年度 (入学予定者)	7名	健康デザイン学科3名 現代教養学科2名 ビジネスデザイン学科2名

2. 日本語教育センターの設置

2024年4月より新たに日本語教育センターを設置し、これまで行っていた留学生向けの日本語科目を同センターに集約するとともに、Showa Direct 4.5 の留学生を対象とする科目として、入学後半年間（第1学期）に11科目、翌年前期（第2学期）に5科目、翌年後期（第3学期）に5科目を新たに開設した。

3. 留学生受入学科の拡大

2024年度は、本プログラムによる留学生の受入を2学部3学科でスタートし、2025年度は新たに2学科が加わり募集を行ってきた。2026年度はさらに3学科が加わり、グローバルビジネス学部2学科（ビジネスデザイン学科、会計ファイナンス学科）、国際学部2学科（国際日本学科、国際学科）、食健康科学部2学科（健康デザイン学科、食安全マネジメント学科）、人間社会学部2学科（現代教養学科、福祉社会学科）の4学部8学科での受入が決定し、各提携校向けのオンライン説明会などを開始している。

4. インターンシップ受入企業のさらなる開拓

2026年度に新たに受入学科が拡大することを受け、インターンシップ学生の受入を中心に提携企業の開拓を続けている。

5. 留学生の就職支援プログラムの強化

これまで行っていた留学生向け就職ガイダンスを強化し、東京外国人雇用サービスセンターと提携し、本学に既に在籍している留学生を対象に厚労省の「外国人留学生の国内就職支援研修モデルカリキュラム」に沿ったセミナーを2024年8月に実施した。大学院及び学部の1, 2年生を中心に約20名が参加し、ゲストスピーカーには人材企業で活躍する本学OGを招いて日本で活躍する人材になるためのポイントなどを講演してもらった。2025年度も同様のセミナーを計画中で、Showa Direct 4.5の1期生も参加予定である。

なお、2024年度に卒業した留学生の就職状況は以下の通り。

(2025年5月1日現在)

	大学院	学部	全体
卒業した留学生 (A)	5	13	18
卒業後日本に在留した留学生 (B)	5	9	14
うち就職した留学生 (C)	1	3	4
うち進学した留学生 (D)	2	6	8
うち就活中の留学生 (E) ※特定活動ビザに更新	2	0	2
卒業生に対する日本での就職率 (C/A)	20.0%	23.1%	22.2%
卒業生のうち、日本にとどまった者の就職率 (C/B)	20.0%	33.3%	28.6%
卒業生のうち、日本での就職希望者に対する就職率 (C/B-D)	33.3%	100.0%	66.7%

以 上